

思川開発事業監理協議会・幹事会資料

平成28年 3月 3日

独立行政法人 水資源機構

目 次

1. 平成27年度事業実施概要	1
2. 平成27年度事業実施概要図	2
3. 現地状況写真	3
4. 進捗状況	6
5. コスト管理	7
6. 平成28年度予算	12

1. 平成27年度事業実施概要

○ 平成27年度予算額

- ・ 約19.0億円（累計 約870億円※ 約47%） ※累計額は、平成25年度までは精算額、平成26・27年度は予算額

○ 事業概要

- ・ 付替県道工事、水理調査及び環境調査等を実施した。

○ 主な進捗状況（平成28年2月末現在） ※【 】は全体数量

- ・ 用地取得 【 375ha 】： 累計約369ha、約98%の進捗
- ・ 付替県道 【 6.4km 】： 粟沢進入路中流工区その2他工事等を実施。累計約4.3km、約67%の進捗
- ・ 県道改良 【13.2km】： 累計約13.1kmとなり、約99%の進捗（約12.1km供用済）

○ コスト増減

- ・ 平成27年度の事業執行において、粟沢進入路中流工区その2他工事、付替県道杓子沢工区外照明設備工事の構造の見直し等による縮減を図った。（約6百万円減）
- ・ 平成27年度の事業執行において、板荷引田トンネル工事の地質状況に応じた支保工等の変更によりコストが増加した。（約241百万円増）

○ その他

- ・ 平成28年度予算要求に係る再評価結果としては、事業を継続することが妥当との対応方針であった。しかしながら、当該事業は検証の対象に選定している事業であることから、平成28年度以降も、新たな段階に入らずに現段階を継続するものとし、「ダム事業の検証に係る検討に関する再評価実施要領細目」に基づき検証を行い、その結果に応じてその後の事業の進め方を改めて判断するとされている。なお、ダム事業の検証については、平成27年11月9日に第4回幹事会、平成27年12月25日に第5回幹事会を開催した。

2. 平成27年度事業実施概要図



南摩ダム平面図

凡 例	
	平成26年度まで
	平成27年度



導水路平面図

※ ○数字は写真位置

3. 現地状況写真

①-1 栗沢進入路中流工区その2 他工事（完成） 【工期 H27. 3~H27. 12】

H27. 04 栗沢進入路中流工区



H27. 12 栗沢進入路中流工区



①-2 栗沢進入路中流工区その2 他工事（完成） 【工期 H27. 3~H27. 12】

H27. 04 栗沢進入路下流工区



② 付替県道杓子沢工区外照明設備工事【工期 H28. 1~H28. 3】

H28. 02



完成イメージ

(橋梁照明)



H28. 02



完成イメージ

(トンネル照明)



③ 板荷引田トンネル本体建設工事【工期 H25. 12～H28. 3】

H25. 08 引田側



H28. 01 引田側



H27. 12 坑口（引田側）



H27. 12 覆エコンクリート施工状況（板荷側）



4. 進捗状況（平成28年2月末現在）

補償基準他	H13.12 損失補償基準に関する協定書調印				
用地取得(南摩ダム) (375ha)	98% (369ha)				
用地取得(導水路) (3.159ha) 区分地上権設定含む	100% (3.159ha)				
家屋移転 (80世帯)	100% (80世帯)				
代替地造成	100% (31世帯)				
付替県道(約6.4km)	67% (4.3km)				
県道改良(約13.2km)	92%				99% (13.1km)
ダム本体及び関連工事	仮排水路トンネル (H23.3完成)	基礎掘削	ダム本体工	管理設備	試験湛水
導水路、送水路 及び関連工事	黒川取水放流工 大芦川取水放流工	黒川導水路 大芦川導水路	南摩注水工	送水路	南摩機場

完成
契約

完成
契約

完成：工事が完成した道路延長比（未供用を含む。舗装、付帯設備の未施工を含む）
 契約：工事を契約した道路延長比

5. コスト管理

(単位：百万円)

項 目	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	合 計
コスト縮減	△77	△618	△207	△216	△2	△6	△3	△6	△6	△1,141

(単位：百万円)

項 目	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	合 計
コスト増加	0	0	221	124	77	6	47	125	241	841

(単位：百万円)

項 目	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	合 計
業務執行上の結果 (低入札)	0	△580	△1,316	△91	0	△23	△56	△37	0	△2,103

(単位：百万円)

項 目	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	合 計
執 行 額	520	5,590	3,115	1,994	81	398	751	1,142	1,128	14,719

※工事費と補償工事費の合計

平成27年度コスト増減総括表

(単位：百万円)

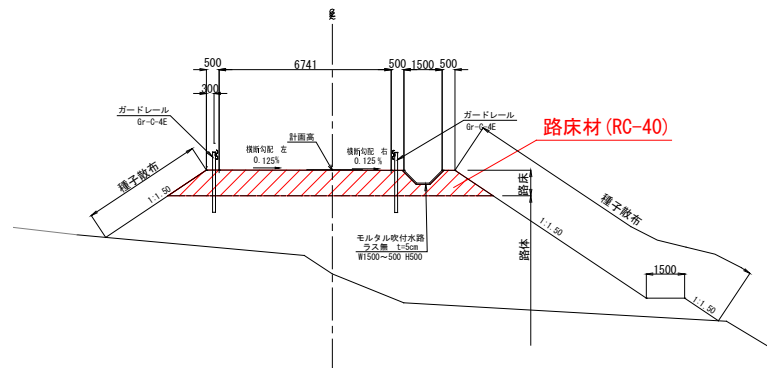
項目	施策内容	縮減額	主な縮減内容	備考
◎コスト縮減		約 6		
○計画・設計段階の見直し				
	①進入路工事における路床材の見直し	約 3	路床材に他工事で発生した掘削ずりの使用	P. 9
	②トンネル照明用ケーブルの系統集約化	約 3	トンネル照明用ケーブルの数量減	P. 10
○施工段階の見直し				
		—		
○その他				
		—		

項目	施策内容	増加額	主な増加内容	備考
◎コスト増加		約 241		
	③地質状況に応じた支保パターン等の変更	約 241	支保工等の変更	P. 11

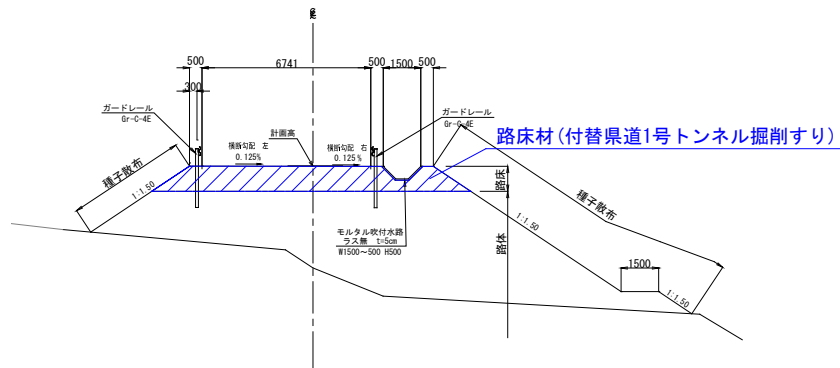
◎コスト削減

① 進入路工事における路床材の見直し

当初（購入土）



見直し後（付替県道1号トンネル工事で発生した掘削ずり）



粟沢進入路中流工区その2他工事

【コスト削減内容】

路床材に購入土を使用する設計だったが、付替県道1号トンネル工事で発生した掘削ずりを使用することにより、工事費を削減することができた。

【コスト削減の要因】

計画・設計段階の見直し

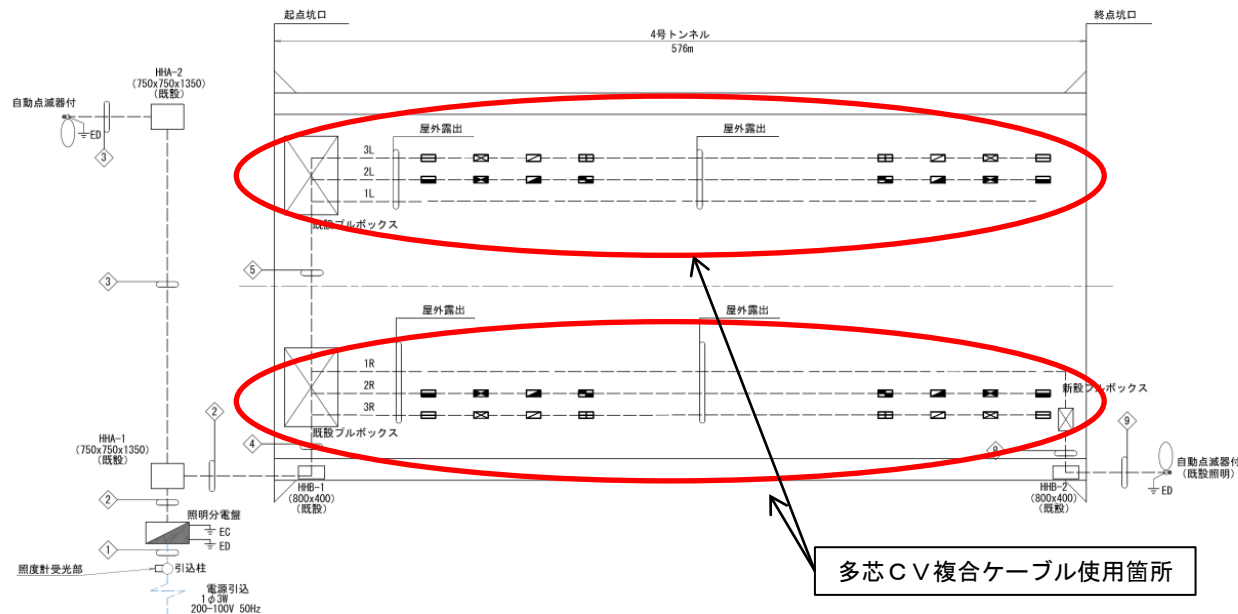
【削減額】

約3百万円 対象費目 [用地費及補償費：補償工事費]

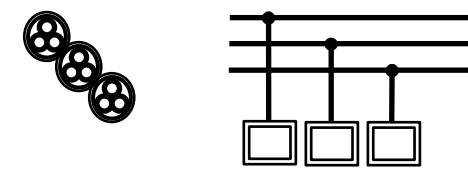
◎コスト削減

② トンネル照明用ケーブルの系統集約化

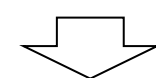
杓子沢トンネル 照明配線系統図



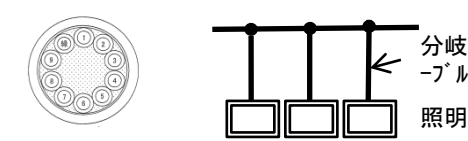
従来



CVケーブル (3芯×3条×L側R側)



今回



多芯CV複合ケーブル (10芯×1条×L側R側)

多芯CV複合ケーブル使用箇所

付替県道杓子沢工区外照明設備工事

【コスト削減内容】

トンネル照明は、点灯パターンによりL側R側3系統ずつケーブル（計6条）が必要であるが、多芯CV複合ケーブルを採用し、L側R側を1系統ずつに集約化（計2条）することにより工事費を削減することができた。

【コスト削減の要因】

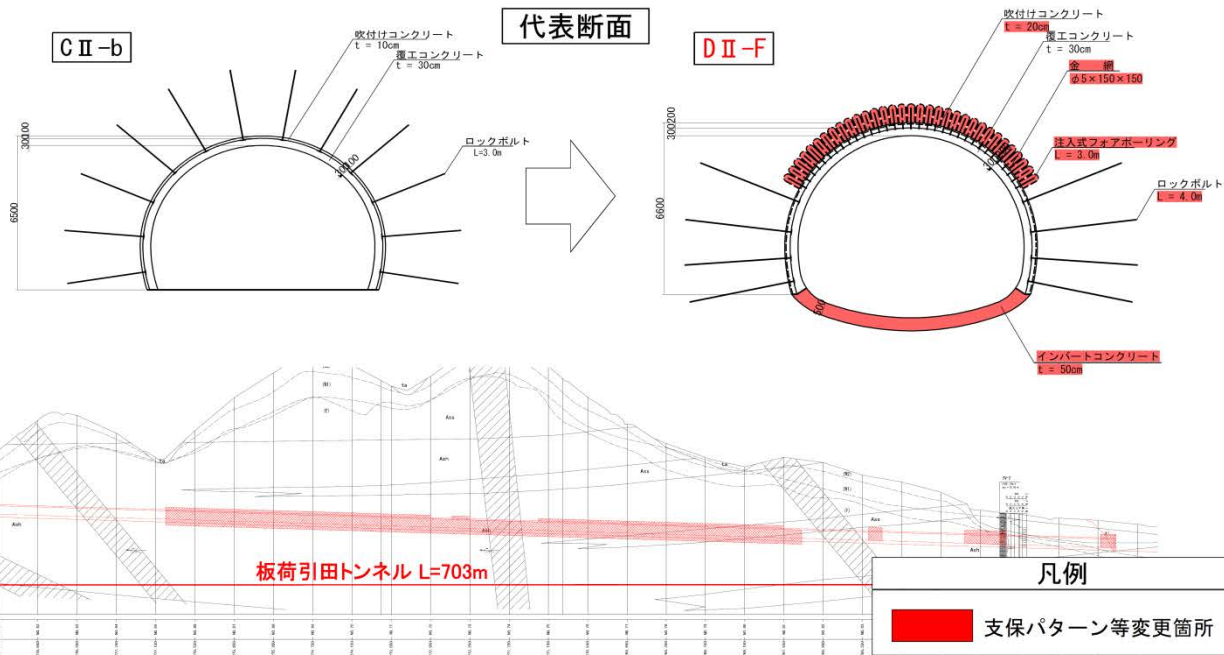
計画・設計段階の見直し

【縮減額】

約3百万円 対象費目 [用地費及補償費：補償工事費]

◎コスト増加

③ 地質状況に応じた支保パターン等の変更



板荷引田トンネル本体建設工事

【コスト増加内容】

トンネル掘削時の地山状況に応じて風化の状態及び割目間隔、割目状態、湧水量等を観察・評価し支保パターンの決定をしているが当初想定していたより地質が悪い地山が多く、掘削支保パターン等に変更が生じ、工事費が増となった。

【コスト増加の要因】

地質状況に応じた支保工等の変更

【増加額】

約 241 百万円 対象費目 [工事費：仮設備費]

6. 平成28年度予算

- ・平成28年度予算については、平成27年12月24日に政府予算案が公表され、思川開発事業については17.96億円が計上されている。
- ・思川開発事業は検証対象であり、引き続き「新たな段階に入らない」ことを基本としつつ、早期の対応方針決定を目指すとともに、地域の意向を踏まえつつ、生活再建事業等を着実に進めるために必要な予算が計上されている。